

\*\*\*\*\*  
\*  
\* 第七章 商品案内システム \*  
\*  
\*\*\*\*\*

基準書  
発行年月

フォーマット  
バージョンNo.

昭和62年 3月  
昭和63年 5月  
平成 3年 3月

制定 「 」  
変更なし -  
改訂 「 1 」

## 運用基準

### 1) データの利用目的

1. 商品マスター内容の整備・充実（分類コード，物流項目，JANコードの整備）
2. 正確，迅速な登録（登録作業の一元化）
3. 商品マスター入力作業の軽減  
（例）一斉価格変更（酒税改訂時等）の大量更新作業や直送商品分登録作業など
4. 業界統一コードの確立  
（例）受発注，販売実績，在庫報告等の商品コード連絡の削減
5. JANコードや重量等の取引先よりの問い合わせの削減

### 2) 対象卸店

データ交換を既の実施している卸店に限定する。

### 3) 対象商品

他データ交換対象商品群と同一にする。  
対象商品群については，卸・メーカー間で取り決める。

### 4) データ授受方法

1. 原則として卸店起動で，メーカー又はVANに取りに行く。
2. VANへはメーカー起動で送る。
3. 卸店よりの依頼書に基づき，オンラインで行う。
4. 卸店は，本社一本で受け，自社ネットワークにより各事業所へ配信する。

### 5) タイミング及びサイクル

卸店におけるマスター登録や発注に必要な且つ十分な時間的余裕をもって，商品情報を伝達する。

サイクルは，提供側運用に合わせる。

### 6) 卸店，メーカーでの管理体制

#### 1. メーカー側機能

伝送卸店の管理

伝送ピックアップ商品分類の管理（不要商品のメーカー側カット）

当日新規登録商品の管理

当日変更商品の管理

伝送項目以外の変更商品のカット

VANへの伝送，又は卸店への配信準備

#### 2. VAN側機能

（VAN不使用の時はメーカー側機能となる）

伝送メーカー，卸，商品分類の組合せ管理（メーカー側機能にない場合のみ）

メーカーより受信，卸店別ファイル分離，配信準備

直近10日分程度の未取り込みデータの保管

一斉価格変更時の対応

### 3. 卸店側機能

メーカー，又はVANよりの受信  
社内システムへの取り込み（本社一本での受信）  
受信したメーカーメンテデータの累積・管理（一定期間プール・管理し，メーカーへの再送要求はせず，社内で商品コードが問い合わせ出来るようにする。）  
単価等のチェック  
自社マスターへの取り込みは，メーカーデータをそのまま使用せず，卸店側の責任に於てチェックして使用する。

メーカー，VAN，卸店の機能については，ネットワーク図例（P93）参照。

#### 7) 実施ステップ

第一ステップは，新発売，一斉価格変更について行う。

第二ステップとして，変更・削除を行う。

特に，変更については，その使用方法を明確にする。（未取り扱い商品の変更が大部分の卸店もある。）

#### 8) セットアップ

卸店側セットアップ時やメーカー準備完了時の媒体については，オンライン以外もありえる。

#### 9) 一斉価格変更

酒税改訂等，一斉価格変更時の媒体については，オンラン以外もありえる。

#### 10) パンフレット等の継続

新製品案内等，パンフレットやカタログは，従来通り行う。

#### 11) 特約店以外への伝送

メーカー対特約店との伝送と位置付けし，いわゆる二次店には，特約店の責任において特約店と二次店間の伝送とする。

#### 12) その他個別検討項目

已む無き理由により，本標準に準拠し難き場合は，当事者双方の協議による事とするが，商品マスターは，各企業のインフラでもあり，その項目追加，変更は早急に対応できず，時間をかけざるを得ない。当初は提供側のできる範囲に限定して行う事を原則とする。

項目内容の確認

（例）メーカー商品分類の意味付け

使用フォーマット対応図の確認

商品コード設定基準の確認

保存期間

追加の定義

必須項目完了のタイミング

VANの位置付け・機能

## 商品コードの設定基準（ガイドライン）

1．対象商品自体を物流・商流とも，明確に識別できる事を原則とする。

- (1) 「ブランド名」が異なる場合
- (2) 「商品名」が異なる場合
- (3) アルコール飲料で「級」が異なる場合
- (4)            "          「度数」が異なる場合
- (5)            "          「酒質」が異なる場合
- (6) 「容量」が異なる場合（食品等で軽微な場合を除く）
- (7) 「容器（形状，材質）」が異なる場合
- (8) 「荷姿（パック商品を含む）」が異なる場合
- (9) 「価格」が異なる場合（改訂を除く）
- (10) 「リニューアル」のうち，同一地域内併売の場合
- (11) デザイン缶等「ラベル違い」で，正月用（干支ラベル等），父の日用等，毎年販売される場合や，ライオンズ缶，ジャイアンツ缶等通年販売される場合（万博・お祭り缶等のイベント缶は，その限りではない）
- (12) ギフトセットで，「セットの中身」が変わった場合（記号と関係なく）
- (13) 「ビンテージ違い」の場合

## 標準フォーマット

### 1) レコードの種類

- |  |        |        |   |
|--|--------|--------|---|
| 1. ファイルヘッダーレコード  | (必須)   | レコード区分 | 1 |
| 各ファイルの先頭に付けられ、ファイルの送信先、提供先の情報を入れ、日付等該当送信ファイルの属性を明確にする為のレコードである。<br>基本は、1ファイルにつき1件作成されるが、1制御電文中に複数個もありうる。<br>詳細は、第三章 共通レコードのフォーマット及び使用ガイドを参照。 |        |        |   |
| 2. 基本部レコード(1)  | (必須)   | レコード区分 | 2 |
| 商品情報の基本項目(コード、商品名等)を明示するレコードである。   |        |        |   |
| 3. 基本部レコード(2)  | (必須)   | レコード区分 | 3 |
| 商品の特質・重量及び形態等明示するレコードである。  |        |        |   |
| 4. 価格部レコード   | (必須)   | レコード区分 | 4 |
| 商品の価格情報を明示するレコードである。   |        |        |   |
| 5. 商品内容オプションレコード(1)  | (選択必須) | レコード区分 | 5 |
| セット品(詰合せ品)の単品詰合せ内容を明示するオプションレコードである。   |        |        |   |
| 6. 商品内容オプションレコード(2)  | (選択必須) | レコード区分 | 6 |
| 全国酒類卸売業協同組合・酒類情報管理センターへ登録する商品の品名を明示するオプションレコードである。   |        |        |   |
| 7. エンドレコード   | (必須)   | レコード区分 | 8 |
| ファイルの終了を表わすレコードで、1ファイルに1件作成する。<br>レコード件数には、このレコードも含む。<br>詳細は、第三章 共通レコードのフォーマット及び使用ガイドを参照。  |        |        |   |

## 2) レコード作成イメージ

1 ファイル

1 ファイルヘッダーレコード

1 件目商品案内

2 基本部レコード(1)	
3 基本部レコード(2)	
4 価格部レコード	
5 商品内容オプションレコード(1)セット	
6 商品内容オプションレコード(2)	

2 件目商品案内

2 基本部レコード(1)	
3 基本部レコード(2)	
4 価格部レコード	
5 商品内容オプションレコード(1)セット	
6 商品内容オプションレコード(2)	

8 エンドレコード

次のファイル

1 ファイルヘッダーレコード

1 件目商品案内

2 基本部レコード(1)	
3 基本部レコード(2)	
4 価格部レコード	
5 商品内容オプションレコード(1)セット	
6 商品内容オプションレコード(2)	

2 件目商品案内

2 基本部レコード(1)	
3 基本部レコード(2)	
4 価格部レコード	
5 商品内容オプションレコード(1)セット	
6 商品内容オプションレコード(2)	

8 エンドレコード

### 3) フォーマット及び使用ガイド

#### 1. 共通レコード

ファイルヘッダーレコード，エンドレコードは，第三章 を参照。

#### 2. 基本部レコード(1)

		条件欄					必須	選択必須	任意
	Content	条件	Col	Pic - ture	For - mat	Len - gth	Description		
1	レコード区分		1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表わす「2」		
2	データシリアルNo.		2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー 単位で1番より付番		
3	メンテ区分		9	X(01)	CH	1	1 : 追加 2 : 変更 3 : 削除		
4	商品 コード	プライベートコード	10	X(13)	CH	13			
5		JANコード	23	X(13)	CH	13			
6		荷姿コード	36	X(02)	CH	2			
7		物流シンボルコード	38	X(16)	CH	16	業界運用時点で必須		
8		計算センターリザーブ	54	X(07)	CH	7			
9	正式商品名		61	X(50)	CH	50			
10	セット・単品区分		111	X(01)	CH	1			
11	容量	単位	112	X(02)	CH	2	'MI' 等大文字表現		
12		容量	114	9(5)V3	ZD	8			
13	函入数		122	9(04)	ZD	4			
14	余白		126	X(02)	CH	2			
15	日本語区分		128	X(01)	CH	1	: カナ表現 1 : 漢字表現		

初版とはフォーマットが大きく変更になっていますが，変更内容についての表左端への表示は，省略してあります。旧フォーマットでデータ交換されている企業はご注意ください。

#### 2-1. レコード区分

基本部レコード(1)であることを認識する。  
固定で「2」をセットする。

#### 2-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位の水データ通しナンバーをセットする。  
ファイルの最初の基本部レコード(1)であれば「0000002」がセットされる。

#### 2-3. メンテ区分

データ処理の区分を表示する。  
1：追加 2：変更 3：削除のいずれかをセットする。

#### 2-4. 商品コード/プライベートコード

メーカーでのプライベートコードをセットする。

#### 2-5. 商品コード/JANコード

特定の商品を除き、JANコードをセットする。

#### 2-6. 商品コード/荷姿コード

商品コードがJANコードのように個装コード(個の単位のコード)の場合は、荷姿コードでその商品の物流単位を補足する。  
尚、荷姿コードの内容に関しては、双方で確認をする必要がある。

#### 2-7. 商品コード/物流シンボルコード

物流シンボルコードを拡張バージョン(16桁)でセットする。  
業界での運用が実施された時点で必須とする。

#### 2-8. 商品コード/計算センターリザーブ

個別のVAN等で使用しているコードを必要に応じてセットする。

#### 2-9. 正式商品名

正式商品名をカナ文字50桁で表示する。  
漢字を使用する場合は、25桁で表示する。

#### 2-10. セット単品区分

セット品か単品かの区分をセットする。  
1：単品 2：セット品(含 詰合せ品) 3：ギフト券  
4：空容器 9：その他

#### 2-11. 容量単位

容量の単位を表示する。  
「ML」(ミリリットル)等、大文字にて表現する。  
酒類の場合には、必須とする。

#### 2-12. 容量

容量単位での1個当たりの容量を小数点以下3桁で表示する。

#### 2-13. 函入数

函単位の個(バラ)数を表示する。

#### 2-14. 余白

スペースをセットする。

#### 2-15. 日本語区分

項番2-9. 正式商品名を漢字表現しているか否かを識別するコードを表示する。  
：カナ表現 1：漢字表現



### 3 . 基本部レコード(2)

条件欄 : 必須 : 選択必須 : 任意

	Content		条件	Col	Pic - ture	For - mat	Len - gth	Description
1	レコード区分			1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表わす「3」
2	データシリアルNo.			2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー 単位で1番より付番
3	入数(2)	内函入数		9	9(04)	ZD	4	
4		梱内函数		13	9(02)	ZD	2	
5	グロス重量(函)			15	9(6)V3	ZD	9	グラム g 表示
6	外型寸法	(函)	縦	24	9(04)	ZD	4	mm表示
7			横	28	9(04)	ZD	4	mm表示
8			高さ	32	9(04)	ZD	4	mm表示
9	(個)		縦	36	9(04)	ZD	4	mm表示
10			横	40	9(04)	ZD	4	mm表示
11			高さ	44	9(04)	ZD	4	mm表示
12	容器形態			48	X(02)	CH	2	
13	賞味期間	区分		50	X(01)	CH	1	D : 日 M : 月 Y : 年
14		日数,月数,年数		51	9(03)	ZD	3	
15	酒類分類			54	X(04)	CH	4	
16	アルコール度			58	9(2)V1	ZD	3	
17	酒質	製造方法		61	X(02)	CH	2	
		保存方法		63	X(01)	CH	1	: 常温 1 : 低温 2 : 冷凍
		味覚度		64	X(10)	CH	10	
18	メーカー側商品分類			74	X(10)	CH	10	
19	バーコード印刷区分			84	X(01)	CH	1	: 印刷有り 1 : 印刷無し
20	余白			85	X(43)	CH	43	
21	日本語区分			128	X(01)	CH	1	: カナ表現 1 : 漢字表現

初版とはフォーマットが大きく変更になっていますが、変更内容についての表左端への表示は、省略してあります。旧フォーマットでデータ交換されている企業はご注意ください。

3-1. レコード区分

基本部レコード(2)であることを認識する。  
固定で「3」をセットする。

3-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする。  
ファイルの最初の基本部レコード(2)であれば「0000003」をセットする。

3-3. 内函入数

内函単位の個(バラ)数をセットする。尚,内函が無い場合は,「0」をセットする。

3-4. 梱内函数

梱単位での函数をセットする。尚, 梱でない場合は,「0」をセットする。  
函入数, 内函入数, 梱内函数のセットについては, 入数表示例(P94)参照。

3-5. グロス重量

函単位でのグロス重量をグラム単位でセットする。

3-6~8. 外型寸法(函)/縦, 横, 高さ

函単位での外型寸法の縦, 横, 高さを各々ミリメートル(mm)でセットする。

3-9~11. 外型寸法(個)/縦, 横, 高さ

個単位での外型寸法の縦, 横, 高さを各々ミリメートル(mm)でセットする。

3-12. 容器形態

容器形態をセットする。

コード	形態	コード	形態
01	壺	09	紙カップ
02	缶	10	紙パック
03	樽	11	お爛壺
04	壺	12	ガラスカップ
05	袋	13	ペットボトル
06	本荷	14	チューブ
07	仮巻	15	アルミパック
08	QB	99	その他

3-13. 賞味期間/区分

賞味期間の単位が「年」か「月」か「日」かの区分をセットする。  
Y:年 M:月 D:日

3-14. 賞味期間/日数, 月数, 年数

区分に対応する数値をセットする。

3-15. 酒類分類

国税庁での酒税法に基づくコードをセットする。

酒類の種類品目級等の区分		発泡性無	発泡性有	酒類の種類品目級等の区分		発泡性無	発泡性有
清酒	1級	0110	0115	スピリッツ類	スピリッツ	7100	7105
	2級	0120	0125		原アル	7200	
合成清酒		1100	1105	リキュール類		8100	8105

酒類の種類品目級等の区分		発泡性無	発泡性有
焼酎	甲類	2 1 0 0	2 1 0 5
	乙類	2 2 0 0	2 2 0 5
みりん		3 1 0 0	3 1 0 5
ビール		4 1 0 0	
果実酒類	果実酒	5 1 0 0	5 1 0 5
	甘味果実酒	5 2 0 0	5 2 0 5
ウイスキー類	ウイスキー	6 1 0 0	6 1 0 5
	ブランデー	6 2 0 0	6 2 0 5

酒類の種類品目級等の区分		発泡性無	発泡性有
雑	発泡酒	麦芽67%以上	9 1 0 0
		麦芽25~67%	9 1 0 1
		その他	9 1 0 2
酒	粉末酒		9 2 0 0
	その他	みりん類似品	9 3 0 0
	の雑酒	その他	9 3 0 1
			9 3 0 5
			9 3 0 6

### 3-16. アルコール度数

酒類のアルコール度を，小数点以下1桁でセットする。

### 3-17. 酒質 / 製造方法

酒類の製造方法をセットする。

コード	内 容	コード	内 容
1 0	吟醸酒	7 0	生
1 2	大吟醸酒	7 1	ラガー
1 4	純米吟醸酒	7 2	黒
3 0	純米酒	7 3	スタウト
3 2	特別純米酒	8 0	赤
5 0	本醸造酒	8 1	白
5 2	特別本醸造酒	8 2	ロゼ

### 3-17. 酒質 / 保存方法

酒類の保存方法をセットする。

：常温      1：低温      2：冷凍

### 3-17. 酒質 / 味覚度

サイン付きで，日本酒度は，±4桁，その他は，カナ文字10桁又は漢字5桁で表示する。

(例)「ヤヤカラクチ」

### 3-18. メーカー側商品分類

メーカーでの商品分類をセットする。

内容に関しては，メーカーは卸店に対して，事前に文書等で通知する。

### 3-19. バーコード印刷区分

JANバーコードが商品に印刷されているか否かをセットする。

：印刷有り      1：印刷無し

### 3-20. 余白

スペースをセットする。

### 3-21. 日本語区分

項番3-17. 酒質 / 味覚度を漢字表現しているか否かを識別するコードを表示する。

：カナ表現      1：漢字表現

#### 4 . 価格部レコード

条件欄 : 必須 : 選択必須 : 任意

	Content	条件	Col	Pic - ture	For - mat	Len - gth	Description
1	レコード区分		1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表わす「4」
2	データシリアルNo .		2	9(07)	ZD	7	データ通しNo . ファイルヘッダー 単位で1番より付番
3	単価切り替え日		9	X(08)	CH	8	YYYYMMDD
4	生産者価格	函	17	9(7)V2	ZD	9	
5		個	26	9(7)V2	ZD	9	
6	標準大卸価格	函	35	9(7)V2	ZD	9	食品のみ
7		個	44	9(7)V2	ZD	9	"
8	標準卸価格	函	53	9(7)V2	ZD	9	
9		個	62	9(7)V2	ZD	9	
10	メーカー希望	函	71	9(07)	ZD	7	
11	小売価格	個	78	9(07)	ZD	7	
12	直送小配料単価	函	85	X(04)	ZD	4	
13	容器保証金単価	空函(樽)	89	X(04)	ZD	4	
14		ビン	93	X(04)	ZD	4	
15	請求区分		97	X(04)	CH	4	請求が商品で分かれる場合
16	消費税区分		101	X(01)	CH	1	: 外税 1 : 内税 2 : 非課税
17	消費税率		102	9(2)V2	ZD	4	%表示 例 0300
18	余白		106	X(23)	CH	23	

初版とはフォーマットが大きく変更になっていますが、変更内容についての表左端への表示は、省略してあります。旧フォーマットでデータ交換されている企業はご注意ください。

4-1. レコード区分

価格部レコードであることを認識する。  
固定で「4」をセットする。

4-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする。

4-3. 単価切り替え日

価格変更時の切り替え日を西暦にてセットする。  
YYYYMMDD (例 19910301)  
「追加」の場合は、スペースをセットする。

4-4~5. 生産者価格/函, 個

函及び個のメーカーでの生産者価格をセットする。

4-6~7. 標準大卸価格/函, 個

函及び個のメーカーでの標準大卸価格をセットする。  
但し、食品のみとし、酒類については必要としない。

4-8~9. 標準卸価格/函, 個

函及び個のメーカーでの標準卸価格をセットする。

4-10~11. メーカー希望小売価格

函及び個のメーカーでの希望小売価格をセットする。

4-12. 直送小配料単価/函

函単位の直送小配料単価をセットする。

4-13~14. 容器保証金単価/空函(タル), ビン

空函(タル)及びビンの容器保証金単価をセットする。

4-15. 請求区分

請求が商品によって分かれる場合に、その区分をセットする。

4-16. 消費税区分

消費税の区分をセットする。  
: 外税    1 : 内税    2 : 非課税

4-17. 消費税率

消費税率を小数点以下第2位でセットする。  
(例) 3% 「0300」と表示

4-18. 余白

スペースをセットする。

## 5 . 商品内容オプションレコード(1)

条件欄 : 必須 : 選択必須 : 任意

	Content	条件	Col	Pic - ture	For - mat	Len - gth	Description
1	レコード区分		1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表わす「5」
2	データシリアルNo.		2	9(07)	ZD	7	データ通しNo.ファイルヘッダー 単位で1番より付番
3	セット品 内容  (1)	商品コード区分	9	X(01)	CH	1	1 : プライベートコード 2 : J A N + 荷姿 3 : J A Nコード 4 : 物流シンボルコード 5 : 計算センターリザーブ 6 : G T I N
4		商品コード	10	X(16)	CH	16	
5		個入数	26	9(02)	ZD	2	
6	セット品 内容  (2)	商品コード区分	28	X(01)	CH	1	
7		商品コード	29	X(16)	CH	16	
8		個入数	45	9(02)	ZD	2	
9	セット品 内容  (3)	商品コード区分	47	X(01)	CH	1	
10		商品コード	48	X(16)	CH	16	
11		個入数	64	9(02)	ZD	2	
12	セット品 内容  (4)	商品コード区分	66	X(01)	CH	1	
13		商品コード	67	X(16)	CH	16	
14		個入数	83	9(02)	ZD	2	
15	セット品 内容  (5)	商品コード区分	85	X(01)	CH	1	
16		商品コード	86	X(16)	CH	16	
17		個入数	102	9(02)	ZD	2	
18	セット品 内容  (6)	商品コード区分	104	X(01)	CH	1	
19		商品コード	105	X(16)	CH	16	
20		個入数	121	9(02)	ZD	2	
21	余白		123	X(06)	CH	6	

初版とはフォーマットが大きく変更になっていますが、変更内容についての表左  
端への表示は、省略してあります。旧フォーマットでデータ交換されている企業は  
ご注意ください。

5-1. レコード区分

商品内容オプションレコード(1)であることを認識する。  
固定で「5」をセットする。

5-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする。

5-3. セット品内容(1) / 商品コード区分

セット品の内容の単品商品コードの種類をセットする。

- 1 : プライベートコード
- 2 : JAN + 荷姿
- 3 : JANコード
- 4 : 物流シンボルコード
- 5 : 計算センターリザーブ
- 6 : GTIN

5-4. セット品内容(1) / 商品コード

セット品の内容の単品商品コードをセットする。

5-5. セット品内容(1) / 個入数

セット品の内容の単品の数をセットする。

5-6~8. セット品内容(2)

5-9~11. セット品内容(3)

5-12~14. セット品内容(4)

5-15~17. セット品内容(5)

5-18~20. セット品内容(6)

項番5-3~5. セット品内容(1)と同様にセットする。

5-21. 余白

スペースをセットする。

## 6 . 商品内容オプションレコード(2)

条件欄 : 必須 : 選択必須 : 任意

	Content	条件	Col	Pic - ture	For - mat	Len - gth	Description
1	レコード区分		1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表わす「6」
2	データシリアルNo .		2	9(07)	ZD	7	データ通しNo . ファイルヘッダー 単位で1番より付番
3	商品 正式名 略式名 名称	カナ漢字優先区分	9	X(01)	CH	1	1 : カナ 2 : 漢字
4		名称	10	X(50)	CH	50	
5		カナ漢字優先区分	60	X(01)	CH	1	1 : カナ 2 : 漢字
6		略称 ( カナ )	61	X(28)	CH	28	
7		略称 ( 漢字 )	89	X(28)	CH	28	
8		略略称 ( カナ )	117	X(10)	CH	10	
9		余白	127	X(02)	CH	2	

初版とはフォーマットが大きく変更になっていますが、変更内容についての表左端への表示は、省略してあります。旧フォーマットでデータ交換されている企業はご注意ください。

このオプションレコードは、「全国酒類卸売業協同組合・酒類情報管理センター」への登録に使用する。

### 6-1 . レコード区分

商品内容オプションレコード(2)であることを認識する。  
固定で「6」をセットする。

### 6-2 . データシリアルNo .

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする。

### 6-3 . 商品正式名 / カナ漢字優先区分

正式名称のカナ漢字の優先順位をセットする。

### 6-4 . 商品正式名 / 名称

基本部レコードの正式名称がカナの場合は漢字、漢字の場合は、カナをセットする。

### 6-5 . 商品略式名 / カナ漢字優先区分

略式名称のカナ漢字の優先順位をセットする。

### 6-6 . 商品略式名 / 略称 ( カナ )

商品のカナ略称をセットする。

### 6-7 . 商品略式名 / 略称 ( 漢字 )

商品の漢字略称をセットする。

### 6-8 . 商品名称 / 略略称 ( カナ )

POSレジ用のカナでの略略称をセットする。

### 6-9 . 余白

スペースをセットする。



#### 4) 更新内容による使用フォーマット対応図

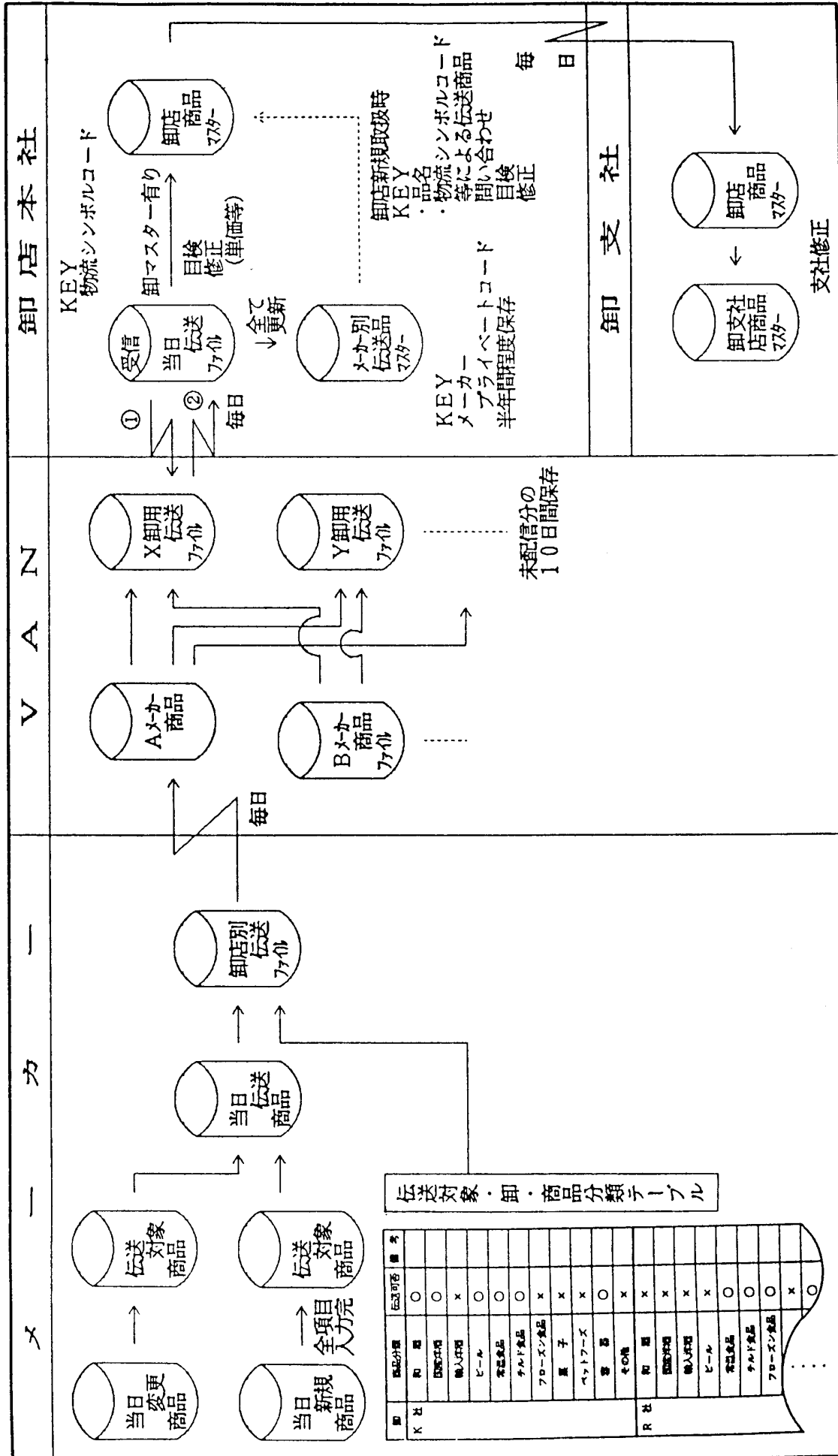
必須      選択必須      任意      ×不要

レコードの種類	追加	基本1 変更	基本2 変更	価格 変更	商品内容 (1) 変更	商品内容 (2) 変更	削除
2. 基本部レコード(1)					注1	注2	
3. 基本部レコード(2)							×
4. 価格部レコード							×
5. 商品内容 オプションレコード(1)	注1	×	×	×	注1	×	×
6. 商品内容 オプションレコード(2)	注2					注2	×

注1. アルコール1%以上含有商品で、税務書報告の必要のある商品でセットになっている商品

注2. 全国酒類卸売業協同組合・酒類情報管理センター登録該当商品

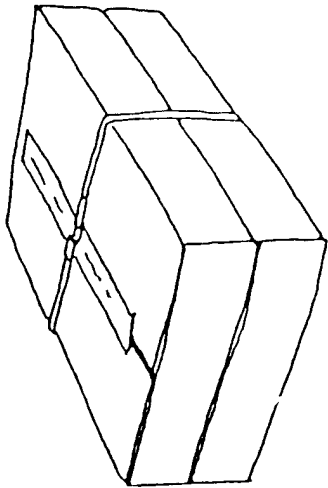
ネットワーク図(例) デイリーでVANを使用する場合



入数表示例

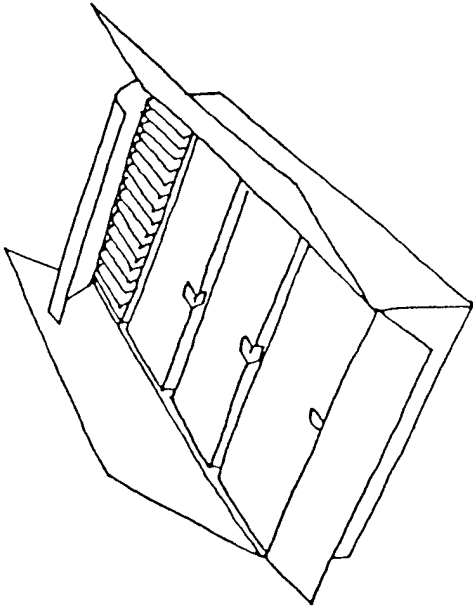
函入数 80  
内函入数 20  
梱内函数 02

梱 2合せ



$(20 \text{ コ} \times 4 \text{ B}) \times 2 = 1 \text{ 梱}$

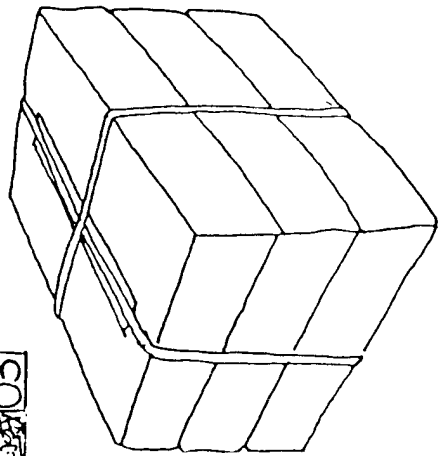
ケース



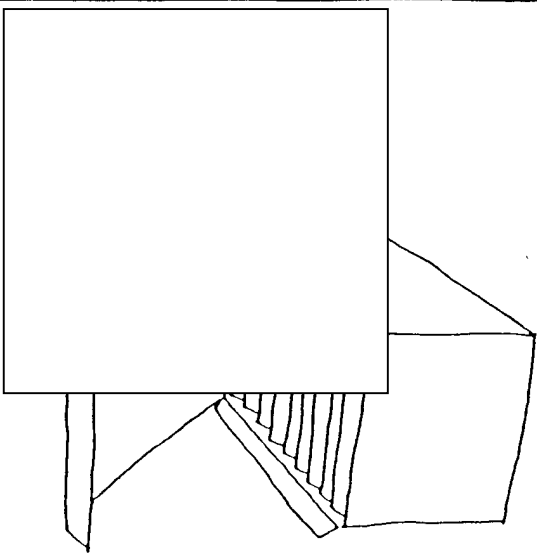
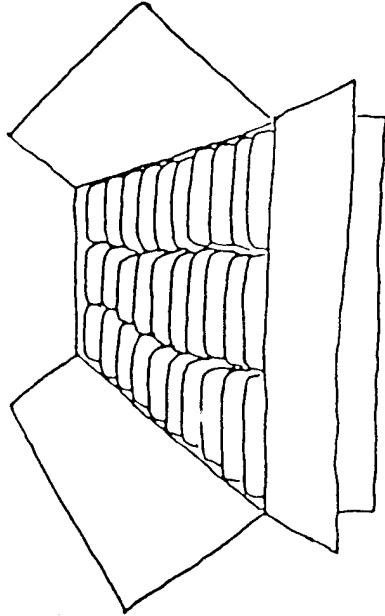
$20 \text{ コ} \times 4 \text{ B} = 1 \text{ ケース}$

函入数 30  
内函入数 00  
梱内函数 03

梱 3合せ



バラ 30 = 1%



$20 \text{ コ} = 1 \text{ B}$

